

北海道研究林標茶区構内の見本樹の花期について

北海道研究林 山内隆之

1. はじめに

北海道研究林標茶区（演習林時代も含む）の研究林内と構内見本林には植栽種を含む数多くの植物が生育しており、それらの目録が二つほど作成・報告されてきている。最初のもは、昭和 28 年に北海道研究林の標茶区と白糠区でおこなわれた調査をまとめたものであり、岡本（1956）が報告している。2 回目のもは、平成 20 年から平成 22 年の 3 年間に調査したものであり、光枝ほか（2011）が報告している。このように植物目録は作成・報告されてきている。しかし、植物の生活史に関しては、報告は殆どなされていない。そこで、今回は、北海道研究林標茶区構内の見本林に植栽されている種、自生している種 27 科 72 種の樹木の花期について平成 24 年と 25 年の 2 年間観察したので、その結果を報告する。

2. 調査方法

花期は、花の咲き始めから咲いている花があると筆者が確認できた期間として定義し、春から晩秋にかけて 2～5 日おきに記録した。調査の対象とした種が複数本ある場合は複数個体分の花期を記録している。花期の調査にあたっては、月を 1～10 日、11～20 日、21 日～月末に 3 分割して表示・記載した。なお、表 1 の花期欄で日付の前に「～」のある樹木は調査の見落としによるものであり、調査開始前に既に花が咲いていた樹木であることを表している。また、今回調査した樹木の中には、両性花だけでなく雌雄異株樹木も含まれているが、今回は雌雄を区別せずに記録している。科名、学名、和名は佐竹ほか（1989）によった。

3. 結果及びまとめ

表 1 は、平成 24 年度（○）と 25 年度（●）の 2 年間に行った花期の調査結果を示している。この結果から、見本樹の開花は 6 月頃に咲いている種が多いものの、5 月から 9 月一杯までの間に何れかの種が必ず花を咲かせていることがうかがえる。

しかし、イヌエンジュとキハダは、平成 25 年には花が咲いてい

なかった。また、エゾムラサキツツジは、2 年間で、狂い咲きした株が観察した 26 株のうち 2 株ありこのうちの 1 株は 2 年連続で狂い咲きをしていた。前者の場合は、樹木で見られる豊凶を示しているのであろう。狂い咲きは気候不順な年によく観察されるが、後者は根釧地域の寒冷な気候を反映しているのかもしれない。また、2 年連続でエゾムラサキツツジが狂い咲きしたことを踏まえて、観察年と 30 年間の月平均気温を比較するとあまり大きな差がみられなかった（図 1）ため、根釧地域では狂い咲きはそれほど珍しいことではないのかもしれない。

構内に植栽されている低木の見本樹は、高木の見本樹の下に植栽されているものが多く、日陰となり、日のあたるほうに傾き葉量を減らしている個体も多い。しかし、この 2 年間におい

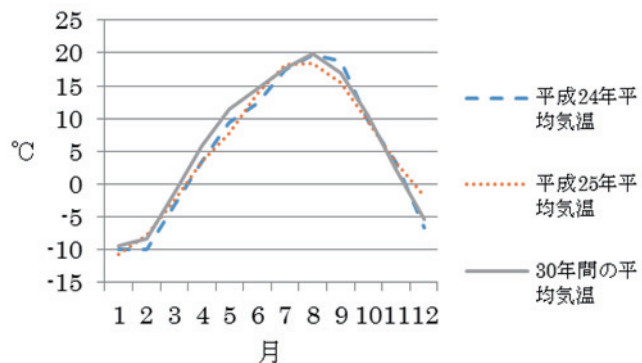


図 1 標茶の月平均気温の比較

ていずれの種も花期に大差がなかったことから、概ねこの地域の各々の種の花期を示しているものと考えられる。

平成 24 年度と平成 25 年度の樹種毎の開花初日を比べると、5 月の春の開花については平成 24 年度の方が早く開花しており、6 月中旬から 8 月の夏の開花については平成 25 年度の方が早く開花する傾向がみられた。これは、両年における平均気温の差が関係していると考えられ、平成 24 年度は 5 月の平均気温が平成 25 年度より高く、逆に 6 月から 7 月は平成 25 年度の平均気温の方が高い事が関係していると思われる。

最後に、本報告をまとめるにあたり、ご指導をいただいた寄元助教にお礼を申し上げます。

引用文献

岡本省吾（1956）京都大学農学部北海道演習林植物目録．京大演報 25：35-74．

光枝和夫・岡部芳彦（2011）京都大学北海道研究林（標茶）の植物．標茶町郷土館報告 23：23-36．

佐竹義輔・原寛・亘理俊夫・富成忠夫（1989）日本の野生植物木本Ⅰ．321pp,平凡社．

佐竹義輔・原寛・亘理俊夫・富成忠夫（1989）日本の野生植物木本Ⅱ．303pp,平凡社．

表1 北海道研究林標茶区構内における見本樹の花期 花期（平成24年度：○、平成25年度：●）

科名	学名	樹種名	花期	5月	6月	7月	8月	9月	10月
マツ科	<i>Pinus densiflora</i> Sieb.et Zucc.	アカマツ	6/20~7/10		○	○			
	<i>Pinus pumila</i> (Pallas)Regel	ハイマツ	6/18~7/3 6/11~7/2 6/15~7/3		●	●			
クルミ科	<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. var. <i>sachalinensis</i> (Miyabe et Kudo)Kitamura	オニグルミ	6/4~7/2 6/6~7/3		○	○			
	<i>Populus jesoensis</i> Nakai	エゾヤマナラシ	5/3~5/8 5/5~5/19	○					
ヤナギ科	<i>Populus maximowiczii</i> A.Henry	ドロノキ	5/15~5/20	○					
	<i>Salix bakko kimura</i>	ハッコヤナギ	5/27~5/31 5/9~5/19		●				
	<i>Betula platyphylla</i> Sukatchev <i>Betula ermanii</i> Cham.	シラカンバ ダケカンバ	5/26~6/9 5/17~5/25 5/24~6/2		●	●			
ブナ科	<i>Quercus dentata</i> Thunb.ex Murray	カシワ	~6/16		○	○			
	<i>Quercus crispula</i> Blume	ミズナラ	6/12~6/17 ~6/16 6/12~6/26		●				
ニレ科	<i>Ulmus davidiana</i> Planch.	ハルニレ	5/9~5/22	●	●				
クワ科	<i>Morus australis</i> Poir.	ヤマグワ	6/12~6/20 6/10~6/14		○				
モクレン科	<i>Magnolia obovata</i> Thunb.	ホオノキ	6/26~7/7 6/16~7/5		○	○			
	<i>Magnolia praecoccissima</i> Koidz. var. <i>borealis</i> (Sargent)Koidz.	キタゴブシ	5/8~5/21 5/13~6/2	○	○				
マツブサ科	<i>Schisandra chinensis</i> (Turcz.)Baill	チョウセンゴミシ	6/12~6/30 6/12~7/1		○	○			
メギ科	<i>Berberis amurensis</i> Rupr.	ヒロハヘビノボラス	6/14~6/22 6/10~6/19		○	○			
	<i>Berberis thunbergii</i> DC.	メギ	6/5~6/30 6/10~7/3		○	○			
ユキノシタ科	<i>Ribes latifolium</i> Janczewski	エソスグリ	5/22~6/8	○	○				
	<i>Ribes rubrum</i> L.	フサスグリ	5/24~6/7 5/27~6/7		●				
	<i>Ribes uva-crispa</i> L.	マルスグリ	5/24~6/12 5/27~6/11		○	○			
	<i>Hydrangea paniculata</i> Sieb.et Zucc.	ノリウツギ	8/2~9/1 7/28~8/17				○	○	○
バラ科	<i>Spiraea salicifolia</i> L.	ホザキシモツケ	8/2~10/8 7/20~9/10				○	○	○
	<i>Spiraea thunbergii</i> Sieb.ex Blume	ユキヤナギ	5/18~6/18 5/28~6/19	○	○				
	<i>Spiraea sericea</i> Turcz.	エゾシモツケ	~7/1 6/4~6/23		○	○			

表1 (続き) 北海道研究林標茶区構内における見本樹の花期 花期(平成24年度:○、平成25年度:●)

科名	学名	樹種名	花期	5月	6月	7月	8月	9月	10月
バラ科	<i>Sorbaria sorbifolia (L.) A. Br.</i>	ホザキナナカマド	8/17~9/2 8/4~8/22				○ ○	○ ○	
	<i>Prunus salicina Lindley</i>	スモモ	5/22~6/9	○ ○					
	<i>Prunus ssiroi Fr. Schm.</i>	シウリザクラ	5/28~6/13 6/22~6/28	● ● ●		○			
	<i>Prunus padus L.</i>	エゾノウヅミズザクラ	~6/11		○ ○				
	<i>Prunus maximowiczii Ruprecht</i>	ミヤマザクラ	6/3~6/15 6/6~6/16		○ ○				
	<i>Prunus nipponica Matsumura</i>	チシマザクラ	6/8~6/14 5/18~5/26	○ ○	● ●				
	<i>Prunus sargentii Rehder</i>	オオヤマザクラ	5/26~6/7 5/14~5/26	○ ○	● ●				
	<i>Rosa rugosa Thunb.</i>	ハマナシ	5/22~6/4 7/2~9/19	● ●			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
	<i>Rubus matsumuranus Lévl. et Van't</i>	エゾイチゴ	6/26~8/11 7/7~7/27			○ ○ ○	● ● ● ● ● ● ● ●		
	<i>Crataegus chlorosarca Maxim.</i>	クロミサンザシ	7/12~8/16 6/9~6/22		○ ○ ○				
	<i>Sorbus commixta Hedl.</i>	ナナカマド	6/10~6/15 6/6~6/25		○ ○ ○				
	<i>Sorbus sambucifolia</i>	タカネナナカマド	6/10~6/19 6/8~6/22		○ ○ ○				
	<i>Sorbus sambucifolia</i>	ミヤマナナカマド	6/9~6/23 ~7/16		○ ○ ○ ○ ○ ○				
	<i>Sorbus alniifolia (Sieb. et Zucc.)</i>	アズキナシ	6/4~6/17 6/12~6/27		○ ○ ○				
	<i>Malus baccata (L.) Borkh.</i>	エゾノコリンゴ	6/12~6/30 6/9~6/23		○ ○ ○				
	マメ科	<i>Gleditsia japonica Miq.</i>	サイカチ	6/10~6/19 7/20~7/28		● ●			
<i>Maackia amurensis Rupr. et Maxim. subsp. buergeri (Maxim.) Kitamura</i>		イヌエンジュ	8/7~8/22				○ ○ ○		
ミカン科	<i>Phellodendron amurense Rupr.</i>	キハダ	7/1~7/14			○ ○			
ウルシ科	<i>Rhus trichocarpa Miq.</i>	ヤマウルシ	非開花						
			7/2~7/28 7/5~7/15			○ ○ ○			
カエデ科	<i>Acer ginnala Maxim.</i>	カラコギカエデ	6/26~7/3			● ●			
	<i>Acer amoenum Carr.</i>	オオモミジ	~6/12		○ ○				
	<i>Acer miyabei Maxim.</i>	クロヒイタギ	6/2~6/10 6/12~7/1		● ●	○ ○			
	<i>Acer mono Maxim. var. marmoratum (Nichols.) Hara f. dissectum (Wesmael) Rehder</i>	イダヤカエデ	6/8~6/24 5/18~6/6	○ ○	○ ○				
トチノキ科	<i>Aesculus turbinata Blume</i>	トチノキ	5/27~6/10	● ●					
			6/11~7/1 6/13~7/1		○ ○ ○	● ● ●			
ニシキギ科	<i>Euonymus sieboldianus Bl.</i>	マユミ	~7/14 7/2~7/8			○ ○			
	<i>Euonymus oxyphyllus Miq.</i>	ツリバナ	6/16~7/7		○ ○	○ ○			
	<i>Celastrus orbiculatus Thunb. var. strigillosus (Nakai) Makino</i>	オニツルウメモドキ	6/25~7/7 6/23~7/6		○ ○	● ● ●			
ミツバウツギ科	<i>Staphylea bumalda (Thunb.) DC.</i>	ミツバウツギ	6/18~7/9 6/17~7/2		○ ○ ○				
ツゲ科	<i>Pachysandra terminalis Sieb. et Zucc.</i>	フッキソウ	5/3~6/7 5/16~6/9	○ ○ ○ ○	● ● ●				
クロウメモドキ科	<i>Rhamnus japonica Maxim. var. decipiens Maxim.</i>	クロウメモドキ	6/8~7/1		○ ○ ○ ○				
シナノキ科	<i>Tilia japonica (Miq.) Simonkai</i>	シナノキ	7/29~8/7 7/22~8/5				○ ○ ● ●		
ミズキ科	<i>Swida controversa (Hemsl.) Soják</i>	ミズキ	6/25~7/11 6/17~7/3		○ ○ ○				
ウコギ科	<i>Aralia elata (Miq.) Seemann</i>	タラノキ	8/17~8/25				○ ○		
	<i>Acanthopanax senticosus (Rupr. et Maxim.) Harms</i>	エゾウコギ	7/29~8/18 7/28~8/11				○ ○ ○ ● ● ●		
	<i>Acanthopanax divaricatus (Sieb. et Zucc.) Seem.</i>	ケヤマウコギ	8/25~9/20				○ ○ ○		
			8/22~9/24				● ● ● ●		

表1 (続き) 北海道研究林標茶区構内における見本樹の花期 花期(平成24年度:○、平成25年度:●)

科名	学名	樹種名	花期	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ツツジ科	<i>Rhododendron dauricum</i> L.	エゾムラサキツツジ	5/6~6/7	○	○	○			
			10/1~11/15						○
	<i>Rhododendron japonicum</i> (A.Gray)Suringar	レンゲツツジ	5/8~6/11	●	●	●			
			10/1~10/20						●
<i>Rhododendron aureum</i> Georgi	キバナシヤクナゲ	5/3~5/23	○	○					
<i>Rhododendron brachycarpum</i> G.Don	ハクサンシヤクナゲ	5/9~6/2	●	●	●				
モクセイ科	<i>Fraxinus mandshurica</i> Rupr. var. <i>japonica</i> Maxim.	ヤチダモ	5/24~6/8		○	○			
			5/27~6/7		●	●			
	<i>Syringa reticulata</i> (Bl.)Hara	ハシドイ	7/12~8/5				○	○	○
			7/7~8/2				●	●	●
<i>Syringa vulgaris</i> L.	ライラック	6/9~7/7			○	○	○		
		6/10~6/27			●	●	●		
スイカズラ科	<i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>kamtschatica</i> (E.Wolf)Hultén	エゾニワトコ	~6/22		○	○	○		
			6/4~6/17		●	●			
	<i>Lonicera morrowii</i> A.Gray	キンギンボク	6/11~6/30			○	○		
			6/11~7/1			●	●		
	<i>Lonicera chrysantha</i> Turcz. var. <i>crassipes</i> Nakai	ネムロブシダマ	6/9~6/29			○	○	○	
			6/6~6/23			●	●	●	
	<i>Lonicera caerulea</i> L.subsp. <i>edulis</i> (Turcz.) Hultén var. <i>emphyllocalyx</i> (Maxim.)Nakai	クロミノウグイスカ グラ	5/24~6/16		○	○	○		
			5/27~6/14		●	●	●		
<i>Lonicera alpigena</i> L. subsp. <i>glehnii</i> (Fr.Schm.)Hara	エゾヒョウタンボク	~6/9			○				
		6/1~6/13			●	●			
<i>Lonicera maximowiczii</i> (Rupr.ex Maxim.) Rupr.ex Maxim.var. <i>sachalinensis</i> Fr.Schm.	ヘニバナヒョウタン ボク	6/22~7/2			○	○			
		6/16~7/3			●	●			